

少団連シンボルマーク



少団連だより

編集発行：船橋市少年少女団体連絡協議会 事務局：船橋市教育委員会青少年課内 〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 TEL 047-436-2902

船橋市少年少女団体連絡協議会

会長 豊木寛子



船橋市少年少女団体連絡協議会（少団連）の大きな活動が「少年少女交歓大会」と「船橋市・津別町青少年交流事業」の二つです。

5月の交歓大会は船橋市市制80周年であり、第50回の記念大会でした。小雨模様の中でしたが、式典には松戸市長を始め来賓の方々のご臨席のもと開催にこぎつけました。式典の後、子供たち直接の交流を願って市長も参加の〇×クイズを展開しました。各ブースを回るスタンプリーでは可愛いデザインの袋を記念品に配りました。

当日雨模様ということもあり、50回記念大会を子供たちに楽しんでもらえたのかと反省もありますが、ミニSL（ボランティア団体による初の試み）など、どこも元気な子供たちの声があふれていました。

運営委員の方々には、皆でクイズの問題や記念品の準備を進めて頂き、特に前日は土砂降りの雨の中の会場準備に、多くの方が一致ご協力くださいました。心

から感謝し御礼申し上げます。

もう一つの活動、津別町との交流事業は今年29回目で津別町を訪問する年でした。

8月5日、船橋の小中学生40名と指導者の総勢50名は、女満別空港のさわやかな冷気に思わず深呼吸しました。

津別町公民館での歓迎式典には町長はじめ大勢の方々が大歓迎でお迎え下さり、ホームステイ先のホストファミリー皆様の暖かい笑顔が印象的でした。

メインプログラム網走川のラフティング体験は危険を伴うプログラムだけに、そのお心遣い気苦労は大変だったことでしょう。皆様のご協力のおかげで、なかなかできない体験を子供たちは満喫できました。

船橋の子供たちは北海道の雄大な自然に触れて、いろいろなことを体験し、津別町の皆様の友情や暖かさを心に深く刻み付けたことでしょう。

時代と共に子供たちの育つ環境は変わりますが、いつの時代でも成長する力は子供自身が持っています。その力を伸ばしていく手助けができるように、今後も少団連の活動を活発に続け

船橋海洋少年団

海洋少年団の館山キャンプ

小6 望月迪博

今年の八月海洋少年団で館山にキャンプに行きました。二泊三日の日程で主に海に入りました。

キャンプ場の近くの海で小魚やエビを採ったり、砂浜でメロンを食べました。

磯辺で友達が多マコを見つけた。ナマコを実際に見るのは初めてで、持ったり観察したりし



られるよう協力し合っています。

最後になりましたが、少団連の皆様、青少年課の皆様のご協力に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

船橋交通少年団

楽しかった花植え

小4 松丸萌々子

私たちは、十一月三日に県立船橋夏見特別支援学校へパンジーの花を植えるに行きました。学校の人たちが卒業する時や、次の人が入学する時に、今よりきれいに咲いて、みんなに楽しんでもらえるように心をこめて植えました。

お花をビニールの入れものから出す時、始めはなかなかできなくて、でもやっているうちにうまくできるようになりました。お花を植えたあと、大人の人たちが

が水をたっぷりまいたら、をぜひ見に来てみたいと思っています。



船橋市子ども会育成連絡会

船橋市ジュニアリーダースクラブ企画

高2 光延敬子

「船客万来」を知っていますか？

「船客万来」とは、船橋市のジュニアリーダーが一人から企画・運営している行事です。

千葉県内の他市町村からジュニアリーダーと船橋市内の小学生を船橋市青少年会館に来てもらい、子ども会の広報活動や軽スポーツを行っています。

今年度で3回目を迎えます。今回はオリエンティングを通して、船橋市について知ってもらい、その後



に毎年恒例となっているドッヂビーをして交流を深め

ようと実施に向け、私達は「船客万来」をスムーズに運営する為に毎月一回の定例会の他に臨時会を数回行って本場に備えています。

色々な、不安・悩み事もありましたが、リーダー間で、共有・協力して準備する事が出来ました。これを糧に今後も、子ども会の行事の企画・運営は勿論、様々な活動に参加していきたいと思っています。

【参考】平成29年度 船客万来開催日 平成29年11月12日

おめでとう
80周年&50回



第50回船橋市少年少女交歓大会



開会のことば

みんなで
メイポールダンス



サスケミニ版

★未来につながる
この笑顔!★

あつまれ!! みんなのフェスティバル!

船橋市市制80周年&第50回

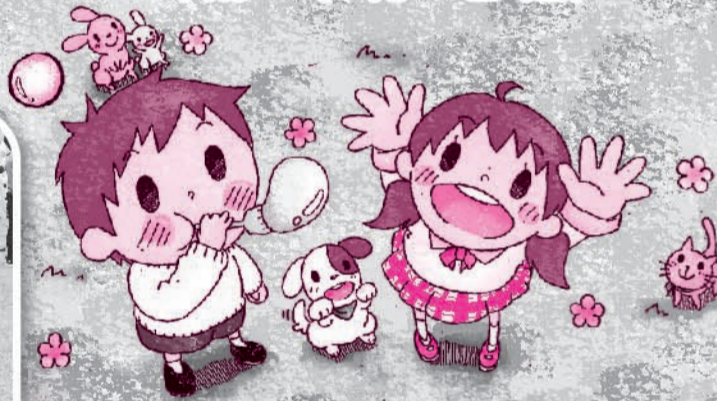
船橋市少年少女交歓大会

平成29年5月14日(日)



はいれ!
フライングディスク

シュートを決める



未来のホームラン王



発車オーライ!

○×クイズに
チャレンジだ



めざせ9秒台!



なかよし



ハイチース!



息ピッタリの
高野太鼓

日本ボーイスカウト千葉県連盟船橋地区

仲間とともに学ぶ

わたしは、絶滅危惧種動物を研究し保護する研究者になりたいという夢を持っています。そのために、ボーイスカウトでたくさんの方を学んでおきたいと考えています。



三年生の冬、学校の友達のことを悩み学校に行くのがいやな時がありました。それでも休むことなく皆勤賞を取れたのは、ボーイスカウトの活動に参加することで、元気をもらっていたからだと思います。全ての活動が楽しいわけではありません。苦手と思うこともあります。それでも私を受け入れてくれる仲間と課題を取り組むうちに、気持ちを入れかえることができ、がんばろうと思えました。

小4 關 花音



わたしにとってボーイスカウトの活動は、夢をかえるための習い事の一つです。大切な場所へとまりました。

船橋市野球協会少年学童部

「負けを経験して」

小6 高橋 和 瑳

今年9月ばかりは藤上デイズはチーム初の船橋市選手権大会(夏季大会)で優勝しました。昨年の秋の船橋市新人大会でも優勝したのですが、今年4月の春季大会は2回戦で敗退。5月の船橋警察署長杯もまた2回戦で敗退。どちらも1点差で悔しい思いをしました。

チームのみんなはその悔

いつも応援してくれるお父さんやお母さん達の支えに感謝を忘れずに、この秋の県大会、市秋季大会に向けてみんなで力を合わせ、



一試合一試合に集中し、キヤプテンとしてチームを引っ張っていき、ひとつでも多く勝てるようにしたいと思います。

船橋・津別青少年交流協会

料理教室に参加して

高1 伊藤 光 樹

私は今回で三回目の参加になりました。過去二回は家族での参加



でしたが、今回は私と姉、従弟との参加となりました。若い人は私たち三人だけでしたが、皆さんとても優しく、安心して料理出来ました。途中、オープンなツマミがわからず、オープンの使い方がわからなかったりとハプニングがありました。最後までできたので嬉しかったです。



献立は「豚肉のウスターソース煮」と「ふきのとうのキッシュ」という私のがてなものでしたが、不思議な料理教室でしたが、とても楽しかったです。次回も参加したいと思いました。

ガールスカウト千葉県連盟船橋地区

リーダーシップとは何か

高3 小川 珠 玲

毎年恒例の青少年少女交流大会。今年50周年という節目で、さらにガールスカウトが担当団という記念すべき大会に、私はスカウトの実行委員長としてガールスカウトブースの運営を任せられました。最初は不安でしたが、他の実行委員のメンバー達と5か月前から準備していくうちに、大丈夫！みんなと一緒に出来る！と自信が持てるようになりまし。



私は今回の経験を通じて、仲間たちと協力しながら、一つ一つの計画を立て準備することの大切さを学びまし。

た。私はみんなを引っ張っていく強いリーダーシップはないけれど、みんなの意見をよく聞いて、それをまとめていくことも大事なり。リーダーシップではないかと思ひます。今は受験勉強で大変ですが、今度はリーダーとして、スカウト達をサポートしていきたいと思ひます。

入団・入会をお待ちしております

Table with 4 columns: Organization Name, Membership Requirements, Organization Name, and Membership Requirements. Includes groups like 船橋海洋少年団, 船橋交通少年団, 船橋市子ども会育成連絡会, 日本ボーイスカウト千葉県連盟船橋地区, 船橋市野球協会少年学童部, 船橋・津別青少年交流協会, and ガールスカウト千葉県連盟船橋地区.

お気軽にお問い合わせ下さい

少団連広報紙「少団連だより(第23号)」は、船橋市のホームページからご覧いただけます。



1班集合！網走監獄



網走川でラフティング



2班のなかま 阿寒湖畔

船橋市・津別町



青少年交流事業

2017 Exchange Program Since 1989 Funabashi・Tsubetsu

平成29年8月5日(土)～9日(水)

平成元年から始まった船橋市と津別町(北海道)の子供たちとの交流事業です。本年度は、船橋市の子供たちが津別町を訪問し、網走川下りや木工体験をとおして、津別町の子供たちと交流を深めてきました。



これなんだろう？



でてこいランドでリラックス



真剣です。ロープワーク



風がきもちよかった阿寒湖畔遊覧船

みんなでいただきまーす



船橋市・津別町青少年交流事業参加者感想文

2回目の交流会

1班 班長 宮川 快翔

この交流会に参加したのは、昨年(平成29年)に続き2回目です。昨年(平成29年)も初めてのことがたくさんありましたが、今年のほうがはるかに多かったです。ぼくが特に印象に残ったのは、ホームステイです。行く前は1人で泊まるのかと思っ

て心配でしたが、4人で泊めてもらってとても安心しました。ホームステイの竹原さんの家に着いて最初に驚いたのは、家がとても大きいことと、庭が広くて、ジャングルジム、すべり台、ブランコがあったことです。まずは遊具をそうじするつもりが、いつのまにか水かけあひになり、水でつぼう合戦になりました。それから、この交流会で1

書きたりないランキング 2班 班長 田中 藍

「楽しみだな」 そんな一言で始まった参加者として最後となるこの交流。私がこの交流に参加して3回目となりました。今年、津別町に訪問させてもらいました。1日1日が楽しかったこの交流にランキングをつけることにしました。

第5位は、「木の実クラフト」です。木の実クラフトは最後の体験プログラムでした。みんなで、今までの思い出話をしたり、花束を作ってくれたりしました。最後までゆうれは悲しかったけど、とても楽しかったです。

第4位は、「交流BBQ」です。ホームステイ家庭の方々と一緒に食べたジンギスカンはとてもおいしかったです。

第3位は、「網走川体験プログラム」です。川の体験プログラムでは水質検査と川下りをしましたが、水質検査では、洗剤と優斗とずぶ濡れになり、超極寒の中での川下り

はとても寒かったのですが、それ以上に楽しかったです。みんな、タオルとパーカーありがとう。第2位は、「ホームステイ」です。ホームステイ先では、私達のために色々なことを考えて下さり、ホームステイプログラムではサロマ湖とオホーツク海の間をサイクリングしたりしました。他にも、お菓子を用意してくれたりお

来年は、Jrとして、希美・雅斗・来凱・洗樹・優斗などのみんなにまた会いたい。役員の方々5日間ありがとうございました。